

講義名称	ミクロ経済学 I	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	SOC121

授業のキーワード	需要と供給、均衡、市場、経済の効率性		
授業の概要	この授業は、はじめて経済学を勉強しようとする人を対象として、経済学の基礎となる考え方や見方の修得を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修する必要があります。		
期待される学習成果 (目標)	1. ミクロ経済学の基本的な考え方を理解できる。 2. 需要や供給などの基本的な用語を使い経済について説明できる。		
授業展開			
回	テーマ	内 容	
1	イントロダクション	授業概要の説明と、ミクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。	
2	トレードオフ、インセンティブなど (1)	経済学の基本的な考え方を学びます。	
3	トレードオフ、インセンティブなど (2)	経済学の基本的な考え方を学びます。	
4	市場における需要と供給：需要	需要と供給曲線について解説します。	
5	市場における需要と供給：供給	供給と供給曲線について解説します。	
6	市場における需要と供給：需要と供給、均衡	市場が持つ機能について解説します。	
7	需要、供給、政府の政策：価格規制 (1)	価格規制とは何か、価格規制により、市場に何が生じるのかについて解説します。	
8	需要、供給、政府の政策：価格規制 (2)	価格規制とは何か、価格規制により、市場に何が生じるのかについて解説します。	
9	需要、供給、及び政府の政策：税金 (1)	課税の役割について解説します。	
10	需要、供給、及び政府の政策：税金 (2)	課税の役割について解説します。	
11	弾力性：需要と供給の価格弾力性 (1)	価格弾力性について解説します。	
12	弾力性：需要と供給の価格弾力性 (2)	価格弾力性と曲線の関係について解説します。	
13	消費者余剰・生産者余剰・総余剰 (1)	余剰について解説します。	
14	消費者余剰・生産者余剰・総余剰 (2)	余剰について解説します。	
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。	
定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。		
評価方法	授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。		
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	マンキュー『入門経済学』第2版 東洋経済新報社 スティグリッツ・ウォルシュ『入門経済学』第4版 東洋経済新報社 安藤至大『ミクロ経済学の第一歩』有斐閣		